

日本NIE学会会報

第34号

[発行所] 日本NIE学会事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1 横浜国立大学教育人間科学部 重松克也研究室内

TEL/FAX 045-339-3433 jssnie2005@gmail.com

日本NIE学会第13回愛媛大会のご案内 (二次案内)

日本NIE学会会長 阪根健二

第13回愛媛大会実行委員長 鴛原 進

I 大会要項

主催 日本NIE学会

後援 愛媛県教育委員会 愛媛県市町教育委員会連合会 松山市教育委員会
愛媛県教育研究協議会 愛媛県高等学校教育研究会
愛媛新聞社 愛媛CATV

1. 期 日 2016(平成28)年11月26日(土)～27日(日)

2. 会 場 愛媛大学 南加記念ホール 共通講義棟A 他
(〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番 愛媛大学城北地区)

3. 参加費

大会参加費：事前納入は2,500円、当日納入は3,000円

学生・院生は1,000円

情報交換会(懇親会)参加費：事前納入は4,500円、当日納入は5,000円

4. テーマ NIEが主権者育成に果たす役割

5. 日 程

第1日目 11月26日(土)

11:00 11:30 12:30 13:30 16:30 16:45 18:15 18:30 20:00

理事会 受付	理事会 一般受付	総会 (南加記念 ホール)	シンポジウム 主権者育成と NIEの検証 (南加記念ホール)	移動	研究分科会 ①②③④ (共通講義棟A)	移動	情報交換会 (懇親会) (大学会館・生協食堂)
-----------	-------------	---------------------	---	----	---------------------------	----	-------------------------------

第2日目 11月27日(日)

8:30 9:00 12:00 12:40 16:25 頃

受付	自由研究発表 (共通講義棟A)	巡検(希望者のみ) A: 四国霊場参り B: 道後温泉と 子規記念博物館
----	--------------------	---

II 大会概要

11月26日(土)

理事会 11:30~12:30 (共通講義棟A 1階 講13教室)

総会 12:30~13:30 (南加記念ホール)

シンポジウム 13:30~16:30 (南加記念ホール)

テーマ：主権者育成とNIEの検証

概要：

愛媛大会のテーマである「NIEが主権者育成に果たす役割」に迫る第一歩として、主権者育成の視点からNIEについて検証してみることにした。今年は、いわゆる18歳選挙権での参議院通常選挙などが実施され、主権者教育や新聞報道のあり方が問われた年でもある。

実際の選挙から5か月以上たった今、さまざまな立場の方をシンポジアストに迎えて報告をしていただく。樋口雅夫氏には、教育行政において主権者教育を主導している立場から、加藤令史氏には、参議院選挙の報道や主権者教育の報道に携わった地方紙の立場から、伊吹侑希子氏には、学校において主権者教育とNIEを実践している立場から、佐伯姫夏氏と明賀優介氏には、18歳、現役高校生の立場から、それぞれ主権者育成や新聞に対して報告をしていただく。

市民教育としての社会科教育やNIEについて、長くご研究をされてきた小原友行氏に、ディスカッサントとして議論の整理や新たな展望を示していただく。

コーディネータ：阪根 健二(鳴門教育大学)

鴛原 進(愛媛大学)

ディスカッサント：小原 友行(広島大学)

シンポジアスト：

「主権者として求められる資質・能力を育む、主体的・対話的で深い学び」

樋口 雅夫(国立教育政策研究所・文部科学省)

「地方紙とNIE」

加藤 令史(愛媛新聞社)

「新聞紙面の比較読みから考える未来 —「未来アイデアソン」の実践—」

伊吹侑希子(京都学園中学高等学校)

「18歳からみた選挙と新聞」

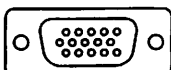
佐伯姫夏・明賀優介(愛媛県立松山東高等学校3年生)

このシンポジウムは、松山のケーブルテレビ局である愛媛CATVが収録し、後日、地元のケーブルテレビ番組にて放送する予定です。そのことをご了解の上、ご参加ください。

シンポジウムの進行はコーディネータが行います。

シンポジアストは、発表要旨原稿、スライドなどを用いて報告をしてください。

会場には、スクリーン、液晶プロジェクタ、スピーカー、Blu-ray(DVD, CD)プレーヤーが備え付けられています。パソコンやタブレット、Blu-ray Disc等は各自でご用意ください。パソコンやタブレットと液晶プロジェクタとの接続は、アナログRGB [D-Sub15] になります。



アナログRGB [D-Sub15] の差し込み面

研究分科会 16:45~18:15 (共通講義棟A)

①「ジャーナリズムとNIE」 共通講義棟A 3階 講31教室 (仮)

コーディネータ：柳澤 伸司 (立命館大学)

概要：

ジャーナリズムとしての新聞は、歴史の証言者として日々の出来事を正確に記録し批評することにある。NIEはそうした新聞を「生きた教科書」として扱う学びである。そして新聞は「生もの」であるがゆえの扱う難しさが伴いつつも、活用次第で様々な学びへと展開できる可能性がある。今年(2016年)7月に神奈川県相模原市で起きた殺傷事件は、人間の尊厳と障害者差別、緊急措置入院の是非、ヘイトクライム、ネットの影響など様々な問題を浮き彫りにしている。この事件や問題からNIEとしてどのように扱うことができるのか、あるいはできないのか。報道現場で起きている問題(被害者の匿名報道など)と照らし合わせながら、NIEの授業展開の可能性について校種別に分かれて参加者とともに検討したい。なお、事前に話題提供者のブログ「ニュース・ワーカー2」(下記)も参照してほしい。

<http://d.hatena.ne.jp/news-worker/20160729>

話題提供

相模原市障害者施設殺傷事件はNIEでどう扱うことができるか

-被害者報道の難しさ-

美浦 克教 (共同通信社)

②「新聞社とつくるNIE」 共通講義棟A 2階 講22教室 (仮)

コーディネータ：平石 隆敏 (京都教育大学)

概要：

学校と新聞社との連携がうたわれながら、現実には授業者は新聞社におまかせで、新聞社は学習の流れや子どもの実態がわからないままの単発の出前授業に終わりがちなケースも多いのではないかと。もう一步進めて、一方でこの授業で子どもたちに何について考えさせ、どんな力を育てたいのか、他方で新聞社がどのような内容や題材を、どのようなやり方で提示するのが効果的なのか、それらについて授業者と新聞社が継続的に協議・協働していくことで、どんなNIE授業をつくりだせるだろうか。本研究分科会では、実践事例の報告を受けながら、こうした可能性について考えていきたい。

発表①：

新聞づくりで高める言葉の力

-教師と新聞社 連携授業の試み-

日野 和子 (愛媛県西条市立庄内小学校)

大植 美香 (愛媛新聞社)

発表②：

選挙権年齢引き下げと主権者教育

-新聞社と協同し生徒ともに創る-

二田 貴広 (奈良女子大学附属中等教育学校)

城島 徹 (日本新聞協会NIE専門部会長・毎日新聞社)

指定討論者：角田 将士 (立命館大学)

③「NIEとアクティブ・ラーニング」 共通講義棟A 2階 講23教室(仮)

コーディネータ：森田 英嗣（大阪教育大学）

概要：

次期指導要領では、知っていることを使って社会や世界と関わり生きていく力が重視され、そのための「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」を育てることがねらいとされる。「アクティブラーニング」は単なる学習の型ではなく、そうした能力が発揮され、磨かれていくような学習経験であると言える。本研究分科会では、この認識を共有した上で、NIEがそうした「アクティブラーニング」をつくる上でどのように貢献できるか、またどのようにそれを評価していくことが出来るかを、実践的・理論的・複眼的に検討していきたい。

話題提供①

「アクティブ・ラーニング」と新聞

森田 英嗣（大阪教育大学）

話題提供②

〈news コミュニティ〉づくりをめざす工夫

－小学校から進めるNIEの段階的な授業－

中島 順子（大阪市立開平小学校）

話題提供③

生徒の「経験知」と教科書の「学問知」をNIEで繋ぐアクティブ・ラーニング

鍛冶 直紀（大阪大学大学院）

話題提供④

市民性の育成を目指すNIEとアクティブ・ラーニング

－中学校と大学での実践から－

中 善則（花園大学）

④「若き主権者自身が考えるNIE」 共通講義棟A 2階 講24教室(仮)

コーディネータ：谷田部玲生（桐蔭横浜大学）

野津 孝明（島根県立宍道高等学校）

概要：

近年の若者（児童生徒のみならず若い先生方も）の新聞離れが著しいと指摘されている。そのような中で、若者自身（教師を目指す大学院生）が、小学校や高等学校で、新聞のおもしろさや意義を児童生徒が体験的に考える授業を実践してきた。その実践を参加者とともに追体験しながら、新聞が、若き主権者に果たす意義について考えていきたい。

話題提供とモデレーター：

愛媛大学大学院教育学研究科・学生

協力 愛媛新聞社

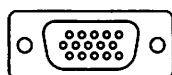
研究分科会の運営はコーディネータがおこないます。

発表者・話題提供者は、発表要旨原稿、スライド、レジュメなどを用いて発表してください。

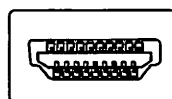
事前申込の状況により会場（教室）が変更になる場合があります。発表要旨集録や当日の掲示にて会場（教室）をご確認ください。

会場には、スクリーン、液晶プロジェクタ、スピーカー、Blu-ray (DVD, CD) プレーヤー、パソコンやタブレットとの接続ケーブルが備え付けられています。パソコンやタブレットは各自でご用意ください。パソコンやタブレットと液晶プロジェクタとの接続は、アナログ RGB [D-Sub15] でもデジタル HDMI でも可能です。(スクリーンへの投影はどちらか一方のみとなり、2台同時投影はできません。) 使用する機器につきましては、各自で接続確認を行ってください。実行委員会では機器の貸与はいたしません。

レジュメ等の補助資料を配布される方は100部ご用意ください。当日、各自でご持参いただき、各教室の補助係にご提出ください。実行委員会では補助資料の印刷はいたしません。



アナログ RGB [D-Sub15] の差し込み面



デジタル HDMI の差し込み面

情報交換会（懇親会）

18:30～20:00（大学会館・生協食堂）

11月27日（日）

自由研究発表

9:00～12:00（共通講義棟A）

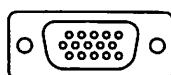
例年通りの口頭発表スタイルでの自由研究発表です。発表者は、発表20分・質疑応答10分の枠内での発表要旨、スライドやレジュメ等の補助資料を用いて研究発表を行います。

事前申込の状況により会場（教室）が変更になる場合があります。発表要旨集録や当日の掲示にて会場（教室）をご確認ください。

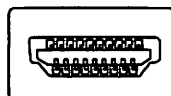
会場には、スクリーン、液晶プロジェクタ、スピーカー、Blu-ray (DVD, CD) プレーヤー、パソコンやタブレットとの接続ケーブルが備え付けられています。パソコンやタブレットは各自でご用意ください。パソコンやタブレットと液晶プロジェクタとの接続は、アナログ RGB [D-Sub15] でもデジタル HDMI でも可能です。(スクリーンへの投影はどちらか一方のみとなり、2台同時投影はできません。) 使用する機器につきましては、9:00までに、各自で接続確認を行ってください。実行委員会では機器の貸与はいたしません。

レジュメ等の補助資料を配布される方は70部ご用意ください。当日、各自でご持参いただき、9:00までに各教室の補助係にご提出ください。実行委員会では補助資料の印刷はいたしません。

発表を、万が一取りやめなければならない場合は、事前に大会実行委員会までご連絡ください。なお、発表時間の繰り上げは行わない予定です。



アナログ RGB [D-Sub15] の差し込み面



デジタル HDMI の差し込み面

自由研究発表 第1分科会 共通講義棟A 2階 講21教室(仮)

司会：朝倉 淳(広島大学)・大植 美香(愛媛新聞社)

① 09:00～

記者体験活動を通して、地域を発掘し自分たちの住むまちを誇りに
—地元新聞社との連携による子ども記者クラブの取組を通して—
橋本 祥夫(京都文教大学)

② 09:30～

新聞記者の取材活動における情報収集のプロセス
—修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いた検証—
花田 祐治(愛知教育大学大学院)
梅田 恭子(愛知教育大学)

③ 10:00～

NIEにおける「新聞づくり」の意義
—全新研の「新聞づくり」が示唆するもの—
澁谷 晃平(愛知教育大学大学院)

④ 10:30～

大学院生によるNIE主権者育成授業開発
—選挙管理委員会と連携した高等学校段階の授業実践を通して—
鴛原 進(愛媛大学)
馬淵 悠生(愛媛大学大学院)
田中 佑典(愛媛大学大学院)

⑤ 11:00～

研修と実践を架橋する新聞作成を中核としたNIE指導力向上プログラムの開発
—免許更新講習を通じた受講者の実践と意識の変容を中心に—
溝口 和宏(鹿児島大学)
田口 紘子(鹿児島大学)
原田 義則(鹿児島大学)

⑥ 11:30～

NIE学習における評価法の開発
—「オバマ大統領広島訪問」の授業実践を通して—
小原 友行(広島大学)
兒玉 泰輔(広島大学大学院)
茂松 郁弥(広島大学大学院)
山本 稜(広島大学大学院)
吉川 友則(広島大学大学院)

自由研究発表 第2分科会 共通講義棟A 2階 講22教室 (仮)

司会：谷田部玲生（桐蔭横浜大学）・小田 泰司（福岡教育大学）

① 09:00 ～

初年次教育における価値判断能力の育成
－新聞を活用したコミュニケーション教育－
中野 美香（福岡工業大学）

② 09:30 ～

大学での経済新聞の活用とビジネスアイデア創出の実践
－企画プレゼンテーション論の授業事例を通して－
江間 直美（江戸川大学）

③ 10:00 ～

2016年4月【熊本地震】・【エクアドル地震】
－「英語を通じての世界への情報発信」の実践－
山西 敏博（大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程・公立鳥取環境大学）

④ 10:30 ～

言語運用能力の基盤形成を支援するNIE
稲井 達也（日本女子体育大学）

⑤ 11:00 ～

保育学科学生におけるNIE実践・社会福祉教育の一考察
－社会福祉ワークブックを中心に－
松井 圭三（中国短期大学）
今井 慶宗（関西女子短期大学）

⑥ 11:30 ～

大学教育におけるNIE
片岡 浩二（横浜国立大学）

自由研究発表 第3分科会 共通講義棟A 2階 講23教室 (仮)

司会：野津 孝明（島根県立宍道高等学校）・久保 宏樹（愛媛県NIEアドバイザー）

① 09:00 ～

社会運動と地方自治・直接民主主義
－NIEを通じて住民運動・市民運動を学ぶ－
小橋 一久（河合塾）

② 09:30 ~

NIEとアクティブ・ラーニングによる主権者教育の開発と評価

- 「どうすれば投票率を上げられるか?じっくり考えて提言しよう!」の授業実践を通して-

光武 正夫 (唐津市立厳木中学校)

③ 10:00 ~

専門高校におけるキャリア教育

- NIE教育とキャリアデザイン -

服部 文彦 (愛知県立一宮商業高等学校)

森 雅子 (全国高等学校秘書教育研究会)

④ 10:30 ~

定時制高校における話し合い活動を重視したNIEの実践

- 総合学習、生徒会、クラス経営、教科から -

久光 原 (北海道恵庭南高等学校)

⑤ 11:00 ~

アクティブ・ラーニングを推進する新聞教育

- 全国新聞教育研究大会・茨城大会から -

高橋 俊英 (茨城県立総和工業高等学校)

自由研究発表 第4分科会 共通講義棟A 2階 講24教室 (仮)

司会：臼井 淑子 (横須賀市立田戸小学校)・日野 和子 (愛媛県西条市立庄内小学校)

① 09:00 ~

中学校数学科におけるNIE

前野 勝彦 (高松市立高松第一中学校)

② 09:30 ~

情報を整理、分析し、よりよい行動につなぐために

- 熊本地震の現場からの気づき、学びを記録し、発信する -

笹原 信二 (熊本市立龍田小学校)

③ 10:00 ~

新聞を活用した政策選択学習の授業開発

- 第5学年「農業」と参議院選挙を関連付けて -

神野 幸隆 (広島大学附属東雲小学校・広島大学院)

④ 10:30 ～

「生徒指導」の学びを深めるNIE（学級通信づくり）の取り組み
 - D・Kolbの体験学習モデルに依拠したアクティブ・ラーニング
 中 善則（花園大学）

⑤ 11:00 ～

国際理解と国際協力

- NIE活動を通しての、世界最貧国マラウイ訪問とJICAの関わり
 荒川 貴子（栃木県小山市立若木小学校）

Ⅲ 大会参加登録 集金 宿泊 巡検

大会参加登録、大会参加費等の集金、宿泊のお手配、巡検については、(株)愛媛新聞旅行がいたします。

◎巡検は先着順の受付となり定員に達した場合はお断りする場合がございます。

（巡検は最少定員に満たない場合は中止となります。）

◎各宿泊施設は先着順の受付となり定員に達した場合はお断りする場合がございます。

（早めの申し込みをおすすめいたします。）

前泊・後泊をご希望の場合は申込書の「備考欄」にご記入ください。

◎大会参加申込締切：**10月15日（土）**（早めの申込にご協力ください。）

◎大会参加費等の事前納入締切：**11月15日（火）**

（お申し込み後、納入についての案内が届きますので、それにしたがってください。）

◎申込書は、日本NIE学会のホームページ <http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~care/NIE/> からダウンロードできます。

日本NIE学会第13回愛媛大会 参加登録／宿泊プラン／巡検 申し込み先

〒790-8511

愛媛県松山市大手町1丁目12番地1 株式会社 愛媛新聞旅行 担当：脇田

Tel：089-998-7400 Fax：089-998-7411

E-mail：wakita@aishin-ryoko.co.jp

【領収書】

大会参加費、情報交換会（懇親会）参加費の領収書は、大会当日、受付にてお渡しいたします。

【入金後の取消のご案内】

ご入金後、お客様の都合による取消は、ご旅行条件（要約）に基づいて規定の取消料を収受いたします。お客様には、取消料を差し引いた金額を普通振込口座にて返金いたします。

取消の際は、返金口座・口座番号・口座名義をお知らせください。電話による取消はトラブルのもととなりますので、メールまたはFAXにてお知らせください。

IV 交通案内・宿泊案内・その他

<https://www.ehime-u.ac.jp/overview/access/johoku/> あるいは、交通案内をご参照ください。

◎愛媛大学城北地区へは入車はできません。

以前と駐車システムが変更になりました。公共交通機関をご利用ください。

近隣に有料の民間駐車場がございます。

◎宿泊斡旋ご希望の方は「宿泊施設と料金のご案内」をご参照いただき、(株)愛媛新聞旅行にお申し込みください。

◎受付

(1) 11月26日(土)シンポジウムまでの受付は南加記念ホール正面です。11月26日(土)研究分科会開催時と11月27日(日)は、共通講義棟A(研究分科会、自由研究発表の会場)の1階です。

(2) 受付は次の2つに分かれています。

①大会参加申し込みをされた方:「事前受付」にお越しください。

お名前の確認と当日配布の要旨集録、名札、領収書をはじめとする手提げ袋を用意しておりますので、お受け取り下さい。

②事前申し込みをされていない方:「当日参加受付」にお越しください。

参加申し込み用紙に必要事項を記入して、参加費3,000円を添えてお申し込み下さい。当日配布の要旨集録、名札、領収書をはじめとする手提げ袋をお渡しします。

(3) 情報交換会(懇親会)参加費は当日納入5,000円です。事前にお申し込みされておらず、当日希望される方は、受付にてお申し付け下さい。当日のご参加も可能ですが、人数に限りがありますので、できる限り事前納入(4,500円)のご協力をお願い申し上げます。

◎ご利用ください!

11月26日(土)(1日目)昼食時、愛媛大学城北地区内の生協食堂・パルト(大学会館1階)が営業しております。

◎会員控室

講11教室(共通講義棟A1階「受付」東側)をご使用ください。

大会参加費の軽減のため、会員控室には湯茶等は用意いたしません。各自でご用意ください。(会場付近に飲料の自動販売機がございますので、ご利用ください。)また、クローク等もご用意いたしません。大きな荷物などは会員控室をご利用ください。なお、貴重品は必ず身につけてください。

◎大会本部

講12教室(共通講義棟A1階「受付」西側)に設置します。受付付近にも、第13回愛媛大会実行委員が常駐しております。ご不明のことなどは、お気軽に実行委員にお尋ねください。

◎インターネットへの接続が必要な方は、各自で対応してください。

次のような無線LANに接続可能です。

○eduroam

愛媛大学は、キャンパス無線LANの相互利用eduroam <http://www.eduroam.jp/> の参加機関で

す。eduroam 参加機関にご所属の方は、ご所属機関にて、事前に「eduroam アカウント、eduroam パスワード」を取得されていれば、無線LAN eduroam に接続可能です。

○ splash

愛媛大学には、愛媛CATVが提供する無線LAN splash

http://www.e-catv.ne.jp/internet/service_wi-fi/ があります。愛媛CATVケーブルインターネットにお申し込みの方は接続可能です。

○ Ehime_Free_Wi-Fi

愛媛大学には、「えひめFreeWi-Fi」(SSID Ehime_Free_Wi-Fi)のサービス

<http://www.ehime-wifi.jp/> (事業者：愛媛CATV) があります。

この「えひめFreeWi-Fiプロジェクト」は、愛媛県内の地域活性化を図ることを目的とし、旅行者や地域住民等が無料で利用できるWi-Fiスポットを整備する事業です。利用規約やセキュリティレベルに関する事項に同意するだけで、一週間連続でインターネットに接続可能なWi-Fiアクセスポイントです。

ただし、通信経路の暗号化がなされていないため、通信内容は常に傍受される危険性がありますので、重要な情報を暗号化せずに、このサービスを利用して送受信することはお勧めできません。本サービスの利用規約やセキュリティについての説明を熟読・同意の上利用するようお願いいたします。

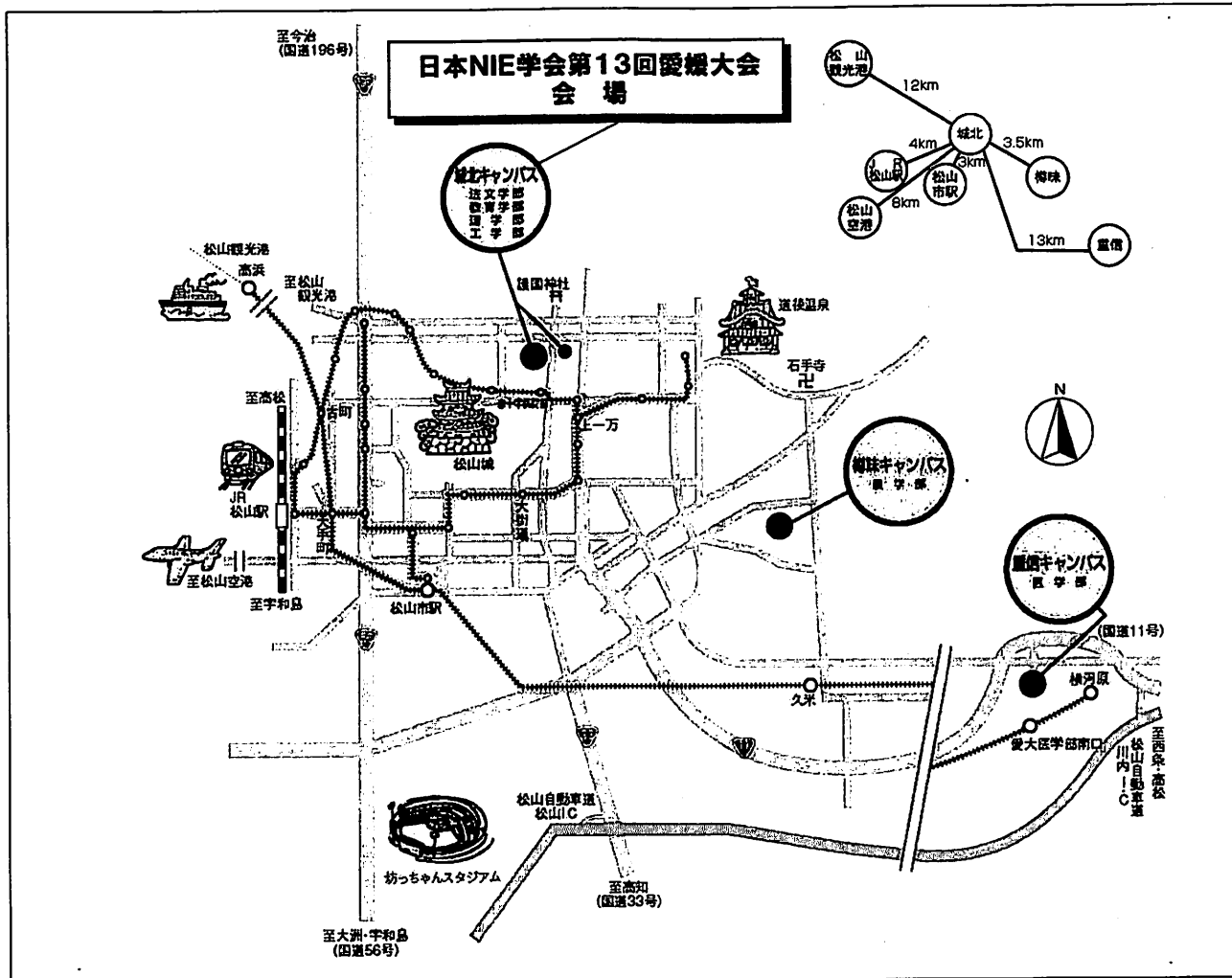
○ WIMAX や各種携帯電話会社が提供するWi-Fiにつきましては、各自でご確認ください。

◎ ゴミの持ち帰りにご協力ください。

V 日本NIE学会第13回愛媛大会実行委員会 連絡先

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番 愛媛大学教育学部内
 日本NIE学会第13回愛媛大会実行委員会 鴛原進宛
 Tel: 089-927-9412 (鴛原進)
 Fax: 089-927-9396 (学部共用)
 E-mail: oshihara.susumu.mj@ehime-u.ac.jp

交通案内 (往路)



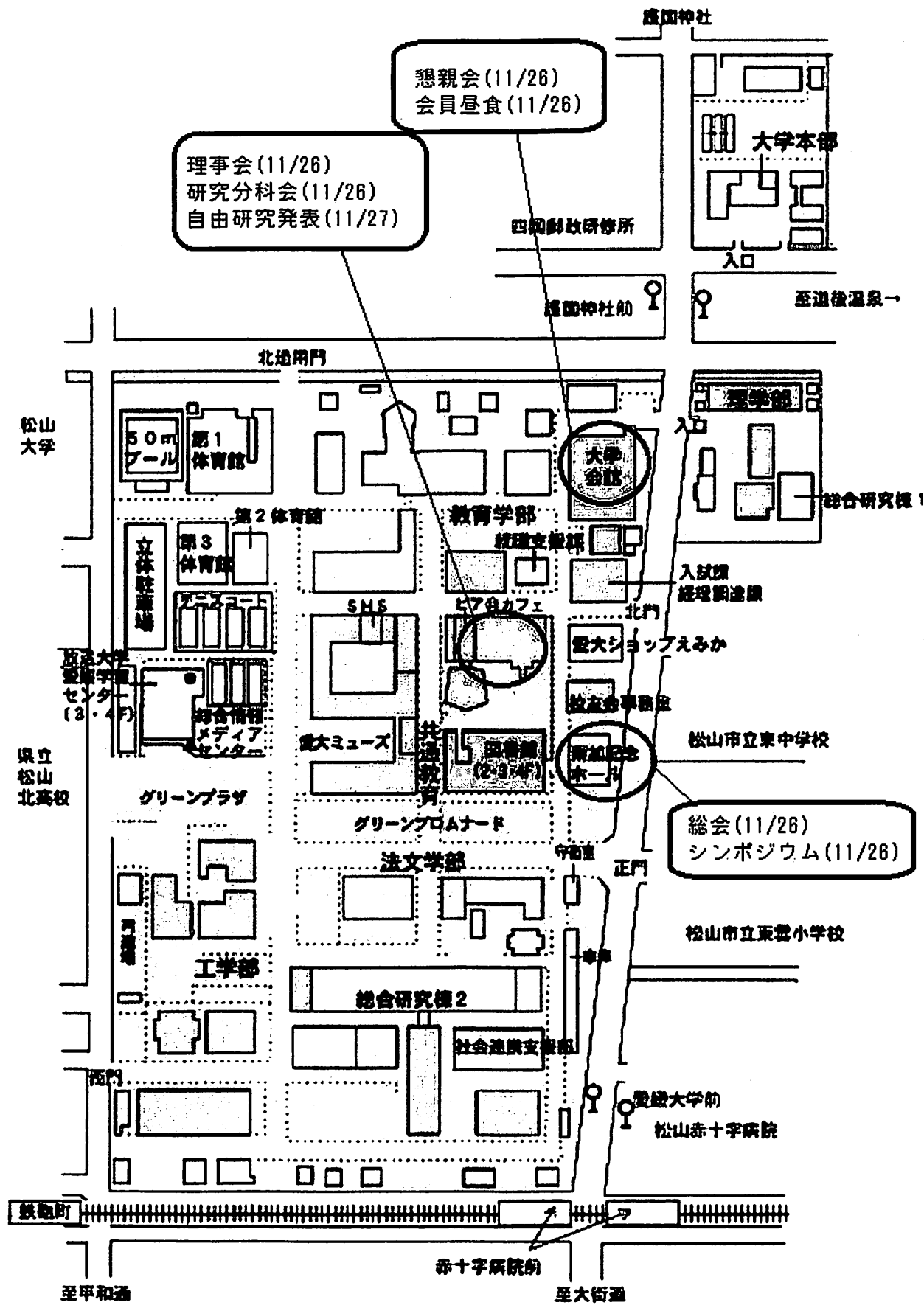
◎松山市内主要地から愛媛大学城北地区・共通講義棟Aまでの主な公共交通機関は、次のとおりです。

- (1) JR 松山駅からは、伊予鉄道「JR 松山駅前」より市内電車①番に乗り、「赤十字病院前」にて下車 (料金 160 円、伊予鉄道想定所要時間 18 分、10 分間隔運行)、北へ徒歩約 3 分です。
- (2) 松山市駅からは、伊予鉄道「市駅前」より市内電車②番に乗り、「赤十字病院前」にて下車 (料金 160 円、伊予鉄道想定所要時間 17 分、10 分間隔運行)、北へ徒歩約 3 分です。
- (3) 大街道からは、伊予鉄道「大街道」より市内電車②番に乗り、「赤十字病院前」にて下車 (料金 160 円、伊予鉄道想定所要時間 9 分、10 分間隔運行)、北へ徒歩約 3 分です。(大街道から愛媛大学城北地区まで徒歩約 15 分です。)
- (4) 道後温泉からは、伊予鉄道「道後温泉駅」発の市内電車に乗り、「上一万」にて市内電車②番に乗り換 (料 金 160 円、「乗換券」を運転手に請求のこと)、「赤十字病院前」にて下車 (「乗換券」を運賃箱に投入、「道後温泉駅」～「赤十字病院前」伊予鉄道想定所要時間約 13 分)、北へ徒歩約 3 分です。(道後温泉から愛媛大学城北地区まで徒歩約 25 分です。)
- (5) 松山空港からは、伊予鉄道「松山空港リムジンバス」に乗り、「JR 松山駅」下車 (料金 310 円、伊予鉄道想定所要時間 15 分)、その後、上記 (1) のようにしてください。なお、松山空港発の松山空港リムジンバスは、「JR 松山駅前」、「愛媛新聞社前」、「松山市駅」、「一番町」、「大街道」、「県民文化会館前」、「道後温泉駅前」と運行するものがほとんどです。
- (6) 松山観光港からは、伊予鉄道「松山観光港リムジンバス」に乗り、「JR 松山駅」下車 (料金 460 円、伊予鉄道想定所要時間 20 分)、その後、上記 (1) のようにしてください。なお、松山観光港発の松山観光港リムジンバスは、「JR 松山駅前」、「松山市駅」、「一番町」、「大街道」、「県民文化会館前」、「道後温泉駅前」と運行するものがほとんどです。

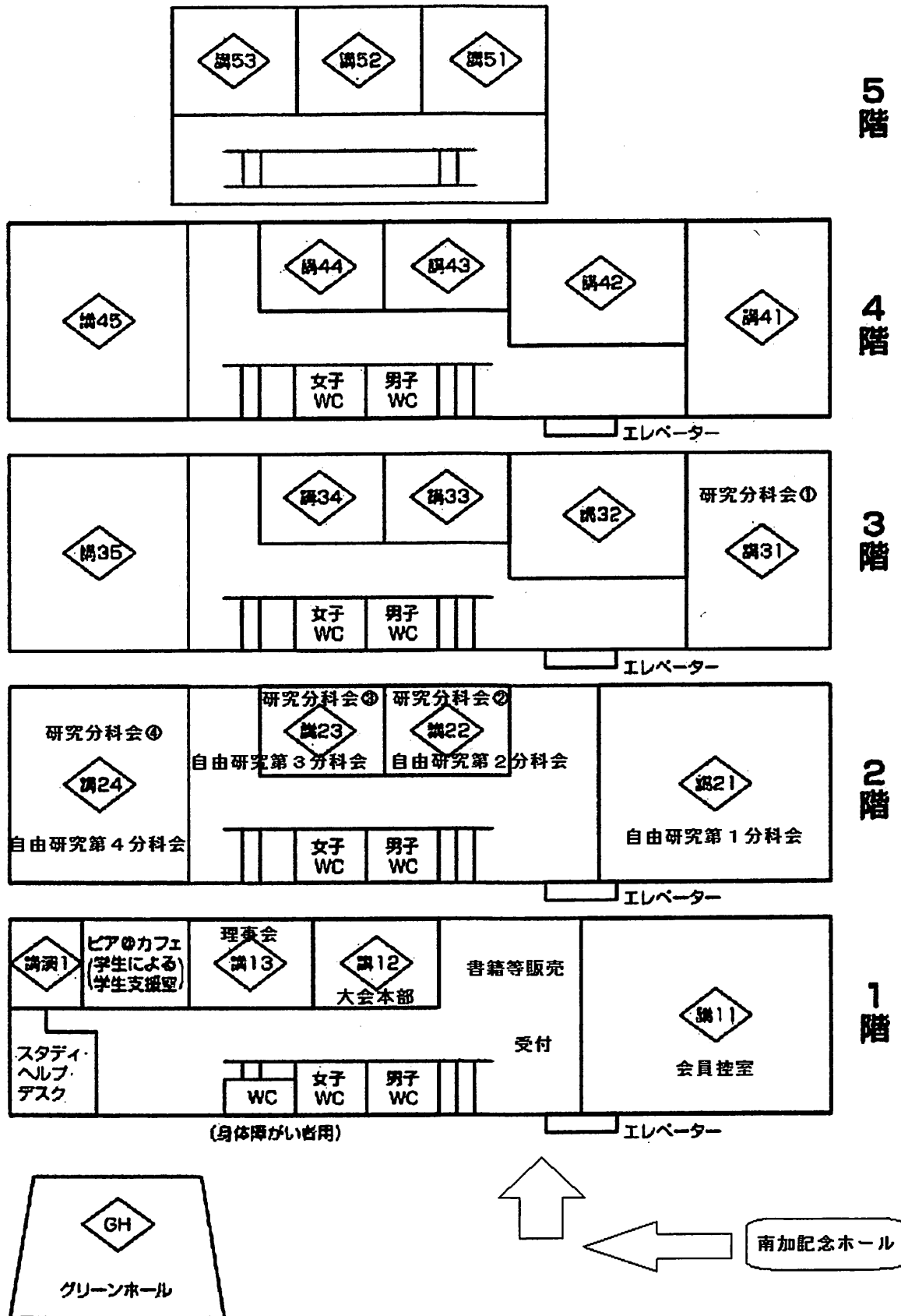
※伊予鉄道の市内電車、バス、松山空港リムジンバス、松山観光港リムジンバスの時刻表・運賃等については、伊予鉄道のホームページ <http://www.iyotetsu.co.jp/> をご参照ください。

※上記以外の方法もありますので、詳細については (株) 愛媛新聞旅行や宿泊施設にお尋ねください。

愛媛大学城北地区案内



愛媛大学城北地区内 共通講義棟A 教室配置案内



宿泊施設と料金のご案内

会場 国立大学法人愛媛大学

◆宿泊取扱日： 11月26日(土)の宿泊を受付致します。(前泊・後泊もご希望の方は、申込書の備考欄にご記入下さい。)

◆利用予定ホテル： シングル1泊朝食、サービス料・消費税(8%)込

宿泊先については、以下の通りご用意しております。お部屋の数には十分に確保しておりますが、申込み状況により他のホテル、ご案内する場合もございます。その場合は事前にお知らせいたします。

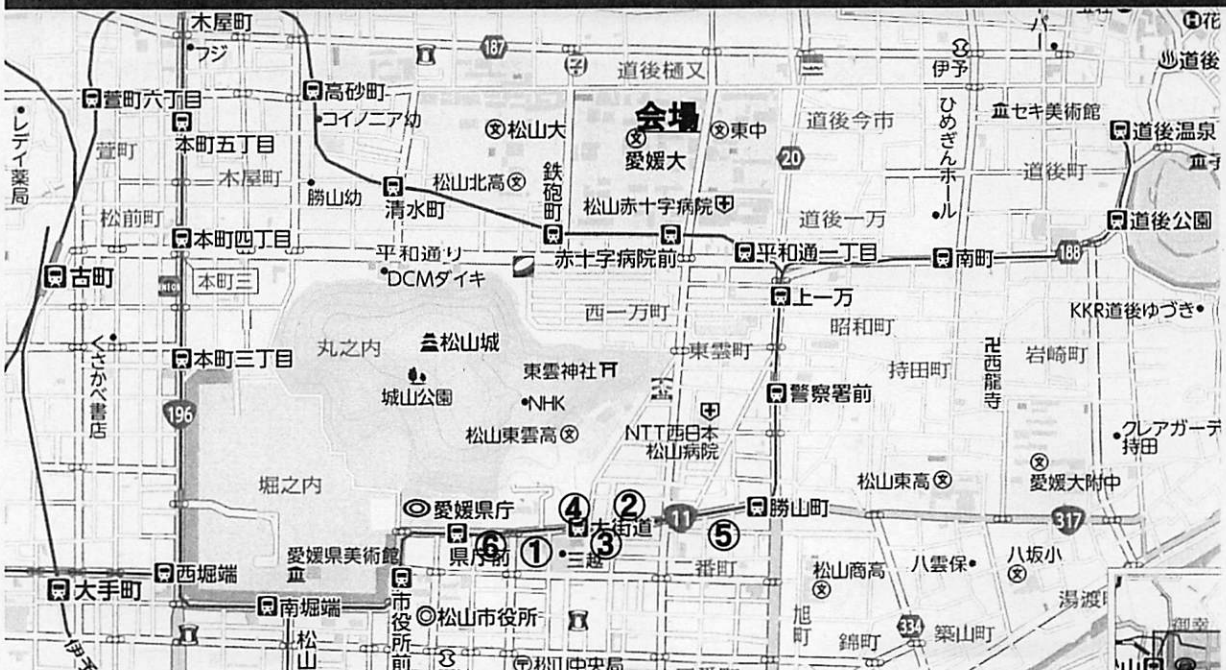
喫煙・禁煙のご希望はお伺いいたしますが、確約は致しかねますので予めご了承下さい。

NO	ホテル名	部屋タイプ	料金	交通案内
①	松山全日空ホテル 松山市一番町3-2-1 089-933-5511	本館シングル	¥13,000	会場まで市内電車9分 (大街道～赤十字病院前)
		別館シングル	¥11,000	
		シングル	¥13,000	
		シングル	¥13,960	
②	ダイワロイネットホテル松山 松山市一番町2丁目6-5 089-913-1355	シングル	¥13,000	会場まで徒歩約15分
③	カンデオホテルズ松山大街道 松山市大街道二丁目5番12 089-913-8866	シングル	¥13,960	
④	松山 東急REIホテル 松山市一番町3-3-1 089-941-0109	シングル	¥10,000	会場まで市内電車6分 (勝山町～赤十字病院前) 会場まで徒歩約12分
⑤	東横INN松山一番町 松山市一番町1-10-8 089-941-1045	シングル	¥7,560	
⑥	ホテルアビス松山(愛媛県庁前) 松山市一番町4-1-8 089-941-9003	シングル	¥6,480	

宿泊に関する変更・取消料のご案内

取消・変更日	宿泊日の 21日前まで	宿泊日の 20～8日前まで	宿泊日の 7～2日前まで	宿泊日の前日	宿泊日の当日 無連絡不参加
取消・変更料率	無料	宿泊料の20%	宿泊料の30%	宿泊料の50%	宿泊料の全額

ご案内図



①松山全日空ホテル ②ダイワロイネットホテル松山 ③カンデオホテルズ松山大街道 ④松山東急REIホテル ⑤東横INN松山一番町 ⑥ホテルアビス松山

【巡検のご案内】

- ◆ 日時 : 11月27日(日)
- ◆ 募集人員 : いずれのコースとも40名(最少催行人員 25名)

★ Aコース:4年に一度のうるう年「逆打ち」四国霊場参り (バスで巡る お遍路体験)

【集合】 12:40 愛媛大学正門前 参加代金: ¥3,500円 *軽食・お茶付き

*お遍路ガイドさんがご案内します

愛媛大学正門===第52番札所 太山寺===第51番札所 石手寺===第50番札所 繁多寺
12:45発 13:05~14:00 14:30~14:55 15:05~15:30

JR松山駅===松山空港===松山観光港
15:45頃 16:05頃 16:25頃

★ Bコース:日本最古の温泉・道後温泉と子規記念博物館

【集合】 12:40 愛媛大学正門前 参加代金: ¥3,500円 *軽食・お茶付き

*現地ガイドさんと一緒に散策します

愛媛大学正門===道後温泉 (*坊ちゃんからくり時計 *道後温泉本館 *圓滿寺 *伊佐爾波神社)
12:45発 12:55~

…(徒歩)…子規記念博物館===JR松山駅===松山空港===松山観光港
15:30発 15:45頃 16:05頃 16:25頃

- 上記日程表の時間は目安です。天候条件および渋滞などの交通事情により観光時間の短縮や、帰着時間に大幅な遅れが生じる場合もございます。
- 軽食は移動中(バス内) でとっていただきます。

ご旅行条件（要約）

●募集型企画旅行

この旅行は、株式会社愛媛新聞旅行（観光庁長官登録旅行業務第1819号）（以下「当社」という）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行を締結することになります。
また旅行条件は下記によるほか、本旅行条件書、出発前にお渡しする確定書面（最終日程表）及び当社の「旅行業約款（募集型企画旅行の部）」（以下「募集型企画旅行約款」という）によります。

●旅行代金のお支払い

参加申込書受領後、請求書をお送りいたしますので指定の期日までにお振込み下さい。
募集型企画旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領した時に成立するものとします。

●取消料

旅行契約の成立後、お客様のご都合で旅行を取消される場合には、旅行代金に対して、お1人様につき次の取消料をお支払いいただきます。

日帰り観光旅行

旅行契約 解除の日	旅行開始日の前日から起算してさかのぼって			旅行開始日 前日	当日 (旅行開始前)	旅行開始後及び 無連絡不参加
	11日目にあたる日 以前の解除	10日前以降 8日前まで	7日前以降 前々日まで			
取消料	無料	旅行代金の 20%	旅行代金の 30%	旅行代金の 40%	旅行代金の 50%	旅行代金の 100%

宿 泊

宿泊契約 解除の日	宿泊日の前日から起算してさかのぼって			宿泊日の前日	宿泊日の当日 無連絡不参加
	宿泊日の 21日前まで	宿泊日の 20日～8日前まで	宿泊日の 7日～2日前まで		
取消料	無料	宿泊料の20%	宿泊料の30%	宿泊料の 50%	宿泊料の 100%

●旅行代金に含まれているもの

旅行日程に記載された、航空機、船舶、鉄道、バス等利用運送機関運賃・料金（注釈のないかぎりエコノミークラス）バスガイド料金、入場料、宿泊費、食事代、及び消費税等諸税。これらの費用はお客様の都合により一部利用されなくても原則としては払戻はいたしかねます。（コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません）

●個人情報の取扱について

当社は旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた旅行において旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲で利用させていただきます。
また、お申込みいただいたパンフレットに記載された運送・宿泊機関及び保険会社、手配代行者に対し、電子的方法で送付することにより提供いたします。

●この旅行条件は28年1月を基準としております。また旅行代金は28年1月現在の有効な運賃・規則を基準として算出しております。